

## 第9回 住民がつくるおしゃれなまち研究会 議事概要

日 時：2019年1月18日（金）18:00～20:00

場 所：日本都市センター会館7階 708会議室

出席者：【委員】卯月盛夫 座長（早稲田大学）、岡田智秀 委員（日本大学）、福井恒明 委員（法政大学）、牧瀬稔 委員（関東学院大学）、梶山浩 委員（戸田市）、石川義憲 委員（日本都市センター）

【事務局】櫻井室長、千葉主事（戸田市）

峰岸主任研究員、高野研究員、瀧澤研究員（日本都市センター）

### 議事要旨

- ・報告書のとりまとめ
- ・総括

#### 1 「おしゃれ」の定義

- ・本書における「おしゃれ」の定義は、「共感が得られる個性」である。また、共感が得られる個性の創造には、「付加価値」や「差別化」がキーワードとして存在する。
- ・「おしゃれ」に近い意味を持つ言葉に「粋」がある。しかし、「粋」という言葉には、「良き伝統」という含意があるのではないか。近郊都市は歴史性が浅いまちであることが多いので、その目指すべき姿を語る上では、「粋」よりも「おしゃれ」を用いる方が適している。
- ・「おしゃれ」は、「これが好き」・「これが嫌い」といった自分の価値観で決まるものであり、主観性が強いものである。近郊都市において「おしゃれ」が議論に上るのは、大都市で色々な物を見てきた、目の肥えた住民が暮らしているからではないか。
- ・生活に必要なものがすべて徒歩圏に揃っているというのも「おしゃれ」である。
- ・「おしゃれ」は「個」の感覚であるが、その感覚を他者と共有していく術の1つに「シビックプライド」があるのではないか。

#### 2 総括

- ・彩湖・道満グリーンパークでは、レクリエーションやアクティビティをする人々が、おしゃれに着飾って活動している。戸田市はそれぞれの人が「主体」として楽しめる環境は整っているが、それを「客体」として楽しむスポットが不足している。
- ・戸田ボートコースや彩湖・道満グリーンパークでは、ウッドデッキを設置するなどして、ビューポイントを複数整備する必要がある。
- ・水辺の拠点だけでなく、そこに向かうまでのアクセス空間もおしゃれに整備する必要がある。水辺の拠点から駅までの間をおしゃれにつないでいくために、三軒協定をさらに促進していくのがよいのではないか。また、夜間には市街地が暗くなってしまうのを逆手にとって、光の三軒協定を促進していくのもよいかもしれない。
- ・住工が混在しているのが戸田らしさでもある。近年では、倉庫がおしゃれに活用され始めて

いる。倉庫らしさを残しつつ転用していくことを考えるべきではないか。

- ・「倉庫のまち」のイメージの払拭を試みるのではなく、倉庫のまちをおしゃれにすることに力を注いでほしい。

### 3 報告書の刊行スケジュールについて

- ・2019年2月中旬に入稿し、2回の校正を行った後、3月下旬に刊行する。

(文責：日本都市センター)